

## 第5学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題（重点項目）	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○物語文や説明的文章の要旨をとらえられるようにする。</li> <li>○漢字や言葉の特徴やきまりを正しく理解させる。</li> <li>○話す・聞くの指導を重視する。</li> <li>○丁寧な字を書くようにさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や段落ごとに重要な語句に着目して読み、話の中心を捉えられるようにする。</li> <li>・ノート指導の充実を図り、物語の登場人物の気持ちや、文章の要約を自分なりに表現させる。</li> <li>・学習した言葉の特徴やきまりを授業の中で繰り返し振り返る。</li> <li>・話の構成を考え、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。また、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。</li> <li>・丁寧なノートの紹介をし、丁寧に書こうという意欲をもたせる。</li> </ul>	
社 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を活用して必要な情報を集めたり、読み取ったりできるようにする。</li> <li>○資料から考えた特徴や今後の課題を適切に表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書、資料集を活用して資料を読み取るだけでなく、インターネットを使った資料集めや効果的な資料提示を行う。</li> <li>・資料を活用し、その特徴や考察をノートやワークシートに書く指導を繰り返し行う。また、それらを比較・関連付け、資料から分かることを全体で共有する。</li> </ul>	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各領域の基礎基本の定着を図る。</li> <li>○多様な考え方や表現の仕方や捉え方ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導で児童の習熟に合った指導を展開する。</li> <li>・習熟度を図るテストを定期的に行い、習熟の度合いを明確にする。</li> <li>・問題を解くことだけを指すのではなく、いくつもの方法で問題を解いたり、様々な解き方を説明したりする授業を展開する。</li> </ul>	
理 科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決学習のプロセスを定着させる。</li> <li>○実感を伴った学習活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題、方法、予想、実験（観察）結果、考察という問題解決の流れを明確にした授業を展開する。</li> <li>・具体物を用いたり、実験を積極的に行ったりしながら、活動的な学習形態を目指す。</li> </ul>	
体 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自身の技能の高まりを実感させる。</li> <li>○友達と学び合う学習活動を取り入れる。</li> <li>○運動への意欲を高めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能ポイントを明確にし、具体的な声掛けや、模範演技を取り入れる。</li> <li>・学習カードを活用し、見合い、教え合いの視点を明確にしながら、活動していく。</li> <li>・領域の異なる多くの種目を経験させられるような単元計画を立て、実行する。</li> </ul>	
総 合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら調べ進めていこうとする態度を育成する。</li> <li>○調べたことを発表したり共有したりする活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童や社会の実態を考慮し、児童の「調べたい」という意欲を高めることができるテーマを設定する。</li> <li>・パソコン、模造紙、劇など発表の仕方を多様化したり、学年で交流するなど共有の仕方を工夫したりして、活動を充実させる。</li> </ul>	
道 徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○価値に迫るために多様な指導法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が身近に感じることのできるような教材を提示、開発していく。</li> <li>・児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、話し合いが行われるような授業展開にしている。</li> </ul>	

外国語	○外国語に興味、関心をもちたせる。 ○言語や文化について体験的に理解を深めるようにする。	・ゲームや話し合い活動を積極的に行い、ただ楽しむのではなく、決められたフレーズやルールに則って行うよう声掛けをする。 ・外国語の音声やリズム、日本と外国との生活習慣や行事などの違いを知る機会を増やす。	
-----	---	---	--